

[月 日]

＜例＞^{もろすけ}2師輔(九条流)と^{さねより}3実頼(小野宮流) → 4兼通(兄)と5兼家(弟) <ともに師輔の子>

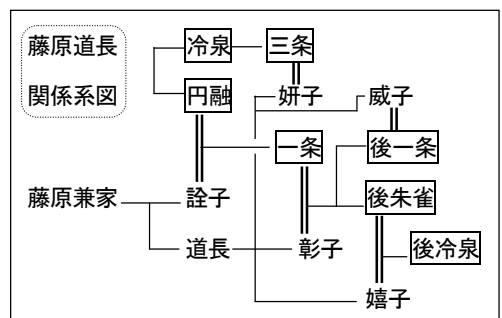
→ 道隆(兄)と道兼(弟) くともに兼家の子 → 道長 (叔父) と 伊周^{これちか}(甥) く道隆の弟と子

・¹²法成寺を造営[1020] → 「¹³御堂関白」 と呼ばれる 日記「¹⁴御堂関白記」

→₁₇後一条・後朱雀・後冷泉天皇を産む (道長が外祖父) →₁₈後一条天皇の₁₉摂政[1016]

・「此の世をば我が世とぞ思ふ」[1018] …『20小右記』が伝える

・後一条の摂政、²⁴後一条・後朱雀・後冷泉の関白…約50年[1016～1074]におよぶ政権



平安貴族の世界

摂関期の貴族政治

※背景に母方重視の社会…結婚後は子どもは母方で育ち、夫は妻の実家の庇護を受ける

構造：²⁵外戚政策→摂政(天皇幼少)・関白(成人後)などに就任→天皇権力を共有(主に²⁶人事権)

→高位・高官＝高い俸給の独占と荘園の拡大、中下級貴族を隷属

形式：太政官の公卿による会議→天皇の決裁→²⁸宣旨(天皇の命令)・²⁹官符(太政官の命令)として全国へ

…<例>²⁷陣^{じん}定^{さだめ}(内裏の近衛の陣座で行われる重要会議)

内容：儀式(先例の正確な踏襲)と人事(³⁰除目^{じもく})

…³¹年中行事の発達(約200種) <例> 神事(大祓、賀茂祭など)、仏事、七夕など

日記(『³²御堂関白記』『³³小右記』『³⁴権記^{ごんき}』)や儀式書(源高明『³⁴西宮記』藤原公任『北山抄』)

の重視

貴族の生活

生活 衣：男 ⁴³衣冠^{いこう} (略式)・⁴⁴束帯^{すくたう} (正式)、⁴⁵直衣^{のうし}・⁴⁶狩衣^{かりぎぬ} (平常服)

女 ⁴⁷女房装束^{にようぼうさうそく} (⁴⁸十二単^{じふにたん})…⁴⁹唐衣^{からぎぬ}・裳^も・桂^{うちぎ}などの重ね着

食：比較的簡素 獣肉は食べない 油も使わない 1日2食

住：⁵⁰寝殿造^{ねでんぞう}…白木造・檜皮葺^{ひわだぶき} 障子で仕切 板張りの床に畳や円座を敷いて生活
寝殿・対屋^{たいのや}・釣殿・渡殿など <例> 東三条殿(邸)

社会 成人：⁵¹元服(男)・⁵²裳着^{もぎ}(女) 12～16才くらい

迷信 <例> ⁵³陰陽道^{いんやうだう}…中国の⁵⁴陰陽五行思想の影響 天体現象・暦で日の吉凶を

⁵⁵方違^{かたがへ} (凶の方角を避けて事前に吉の方向へ移動する)、⁵⁶物忌^{ものい} (穢れを避けて外出しない)

※庶民の生活 衣：⁵⁷水干^{すいかん}(庶民男性の日常服)・⁵⁸直垂^{ひたたれ}(武家の日常服)

食：1日2食 農繁期には間食 穀類の粥が常食 野菜・肉類・海草など(採集も重要)

住：東国…堅穴住居も残る 都…板ぶき・土壁

正誤問題練習

<大学入試センター2000年本試験A、1994年本試験より>

- ① 藤原道長とその子頼通が権力を握っていた時期が、摂関家の全盛期であった。
- ② 唐風の服装にかわる正装として、男子の束帯、女子の十二単ひとえが用いられた。。